

(職員向け)児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 チャイルドウツシュ三河安城

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		1	集団活動が行えるよう死角のない指導員の目が行き届く、一つの空間を使用している。	十分な広さを確保し、ほぼ視覚がなく職員が目が行き届きやすい空間を使用しています。
	2	職員の配置数は適切である	7		1	・人員配置基準は満たしている ・児童指導員加配加算を算定している。	人員基準を満たしており、加配人員も満たしています。 ケガの無いよう質の向上に努めています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		0		入口外側に一段、段差がありますが転倒しないように必要な児童には声掛け寄り添いなどし躓かないように工夫しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		0		視覚の無い1つの場所から全体が見渡せる空間となっています。清潔で心地よく過ごせるように定期的にアルコール消毒も行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		2		PDCAサイクルに心がけ活動前後で職員間のミーティングを継続して行い目標設定を振り返り業務改善に努めています。新人職員にはPDCAサイクルを説明し様々な意見や質問が出るように工夫していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		0		面接やアンケート等実施し保護者からの意向を把握し業務改善につなげていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		0		面接やアンケート等実施し保護者からの意向を把握し業務改善につなげていきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	4		必要があれば実施したい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		0		本部配信で研修が毎月、行われており積極的に参加しています。機会があれば外部研修にも参加していきたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		0	見学や体験、または送迎の際にニーズを把握したり、行動観察を支援記録に記載し個別支援計画書に反映させている。	保護者と面談し保護者から頂いた情報を受けて計画を作成しています。ニーズに直ぐ対応出来ない事もあるので必要に応じて見直していきたい。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		0		本部で作成したアセスメントを使用していますが、個別支援計画書に反映させるため、より充実させた内容でアセスメントがとれるように検討していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		0		アセスメントや行動の分析、特性をもとに必要な支援目標を設定し、具体的な支援内容を必要な項目にいれ取り組めるよう工夫していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		0	日頃から課題や目標を設定している、今後も目標や課題をきめ細やかに設定していきたい。	利用毎の提供記録にて達成目標の評価を行い意識ながら日々支援に当たっています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		0	個別活動が主体だが、発達に合わせて必要があれば集団活動も組み合わせている。	基本的には利用されている児童が安定し楽しめる活動に取り組めるように工夫しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		0	役割分担と支援記録の振り返りをし個別支援計画の内容の取り組みができるように打合せをしている。	児童の特性によって内容を変化させたり、季節の活動を取り入れたり固定しない為のプログラム立案に努めています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8		0	翌朝、ミーティング時に前日の振り返りや気づいた点を共有している。	個別の課題、集団の中での課題を踏まえて支援計画を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	0	休日は全体ミーティングが難しいが個々が確認している。	毎朝、打合せを行い情報共有を行っています。一人ひとりの発達状況に応じて個別の課題と集団適応や社会性や健康面の課題を適宜、取り入れられるように工夫しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	6		2	翌日に行っている。	支援終了後、勤務時間の観点から個人での振り返りが主体となります。本人や保護者の様子などは各職員間で情報共有し問題解決に向けて話し合います。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		0		検証、改善につなげるよう、毎回支援記録を残しています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		0		概ね6ヶ月に1回見直しが行える内容にしていますが必要があれば早期で保護者と面談し見直ししていきます。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		0	今現在は児童発達支援管理責任者が参加していますが、今後は他の職員も参画できるように指導していきたい。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		0	保育園、幼稚園との連携は引き渡し等の時に図っていますが母子保健や子育て支援等との連携は出来ていません。機会があれば検討したい。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1	1	該当児童が1名利用しているが各関係機関との連携が密にとれていないので機会があれば積極的に関わってきたい。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	1	1	該当児童が1名利用しているが協力機関との連携が密にとれていないので機会があれば積極的に関わってきたい。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	0	機会があれば検討したい。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	0	機会があれば検討したい。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		2	管理者が参加している。	担当者会議等、管理者が参加しているが機会があれば他職員も参加させていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6		2	児童館などで交流している。	夏休みなどの長期休暇には事前に児童館に連絡し障害のない子と関われる時間を作っています。障害の特性からトラブルが起きないように支援者が間に入り工夫しています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	1	0		管理者が参加していますが機会があれば他職員の参加もしていきたい。
保護者への説明責任等	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		0	分からないことがあれば時間をかけて説明している。	送迎時にお伝えさせて頂いています。子供の発達の状況や課題については職員みんなで共有しフィードバックしていきます。保護者様への伝え方については社内で接遇マナーの研修を行いスキルアップしていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		2	日々の保護者の会話や面談の中で適宜、助言を行っている。	コミュニケーションを密にして、悩みをしっかりと聞き取れる関係を作ってきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		0		契約時に説明させて頂いています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		0		PDCAサイクルに心がけ、現状把握、課題の整理をしガイドラインに基づき支援計画書を作成しています。今後、支援内容が説明できるよう面談ができる機会を作れるように努めさせていただきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		0		送迎時にお伝えさせて頂いています。子供の発達の状況や課題については職員みんなで共有しフィードバックしていきます。保護者様への伝え方については社内で接遇マナーの研修を行いスキルアップしていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		4		コロナ感染、インフルエンザ感染状況を鑑みながら定期的に開催できるよう努めさせていただきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		0		連絡帳やライン、送迎時など意思疎通や情報伝達の為、いろんなツールを活用していますが他に希望があれば検討させていただきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		0		ハグやインスタ、チャイルド通信で活動の概要や行事予定を発信しています。肖像権の同意書もいただいています掲載を望まない方も見えるため慎重に検討させていただきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		0	個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管している。	個人情報は慎重に取り扱っています。連絡帳の入れ間違えなど起きないように2人で確認するなど工夫していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		0		表情の変化を通して楽しさ、驚き、緊張など子供たちの様子がよくわかるように写真を多く活用し活動での取り組みなど保護者に伝わるように工夫していきたい。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8		0	地域住民の方などボランティアに依頼し、地域交流が図れるように努めたい。	地域住民の方などボランティアに依頼し地域交流が図れるよう努めたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0		各種マニュアルは策定しているが、保護者に周知できていないため早急に周知できるように努めていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	災害時の訓練だけでなく、車内に閉じ込められた際の訓練も行っている。	必要な訓練以外にも子供の特性に行えるように工夫します。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0		保護者の聴き取りから把握しています。児童の健康上の配慮点や注意点について、職員一人ひとりが意識できるよう定期的な確認と周知ができるように工夫していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0		保護者からの情報のもと対応していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0		事故につながる前の予測となる為、細かい内容でもヒヤリハットを作成し職員間で共有し再発防止に努めていきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0		虐待チェックリストを作り毎年定期的を実施し、その結果をもとに課題を整理し研修の機会を作れるように工夫していきたい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	身体拘束のマニュアルに沿って、切迫性、非代替性、一時性の要件を契約時に説明し同意をいただいている。	身体拘束のマニュアルに沿って、切迫性、非代替性、一時性の要件等を契約時に説明していきたい。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。